

**最大約40万点の在庫、1日当たりの出荷能力は従来の2倍以上の機能を有する
新物流拠点「尼崎ディストリビューションセンター」
2014年7月1日(火)より本格稼働開始**

工業用間接資材(※)通信販売最大手の株式会社 MonotaRO(モノタロウ)は、2013年9月に竣工した新しい物流拠点「尼崎ディストリビューションセンター」を、本年7月1日(火)より本格稼働いたします。

同施設の稼働によって、将来的には、従来の約3倍となる約40万点の商品が在庫可能となり、また1日当たりの出荷能力も従来の2倍以上の約5万件を見込んでおり、これまで以上に迅速にお客様のもとへ商品をお届けすることが可能です。

なお同施設の詳細については、別添の参考資料をご覧ください。

【MonotaRO 尼崎ディストリビューションセンター概要】



名称: MonotaRO 尼崎ディストリビューションセンター

所在地: 兵庫県尼崎市西向島町 75-1

構造: 地上 4 階建

延床面積: 約 44,000 m²(約 13,000 坪)

在庫能力: 最大約 40 万点

出荷能力: 一日当たり約 5 万件

■株式会社 MonotaRO について(本社: 兵庫県尼崎市、代表執行役社長: 鈴木雅哉、URL: <http://www.monotaro.com/>) 切削工具や研磨材などの工業用資材から自動車関連商品や工事用品、事務用品に至るまで、現場・工場が必要とされる製品 700 万アイテムを販売しています。2014年6月10日現在の利用ユーザー数は、約123万。2006年12月、東証マザーズ上場。2009年12月、東証一部上場。2013年度の12月期の売上高は約345億円。2014年度の12月期の売上高予想は約426億円。

＜本件に関するお問合せ＞

株式会社 MonotaRO IR・広報グループ 木原 TEL:06-4869-7190 pr@monotaro.com

※ 工業用間接資材とは、製造業の現場における資材のうち、最終製品になる原材料や部品などの“直接資材”を除く全ての資材を指し、切削工具や研磨材などの工作用資材から梱包・補修・清掃・安全・事務用品まで多岐にわたる。

※参考資料

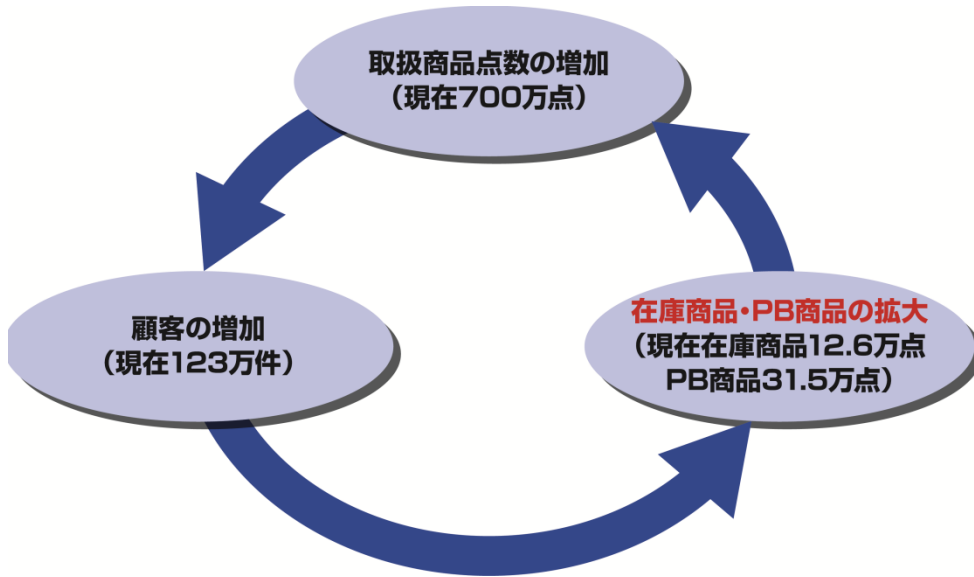
新物流拠点

「尼崎ディストリビューションセンター」
について

●尼崎ディストリビューションセンター開設のねらい

①在庫保有能力の拡大

在庫の拡大は当社成長サイクルにおいて重要な戦略の1つです。当社の顧客である事業者にとって間接資材の納期は製造等操業に関わる問題であり、納期の信頼性が仕入先への信頼性につながります。順調に増加を続ける顧客数に対して、より多くの商品を注文当日に発送し、お客様に利便性を実感いただけるサービスを継続、発展させる為に現在の**3倍以上の在庫保有能力**(下記「在庫拡大計画」参照)を確保します。

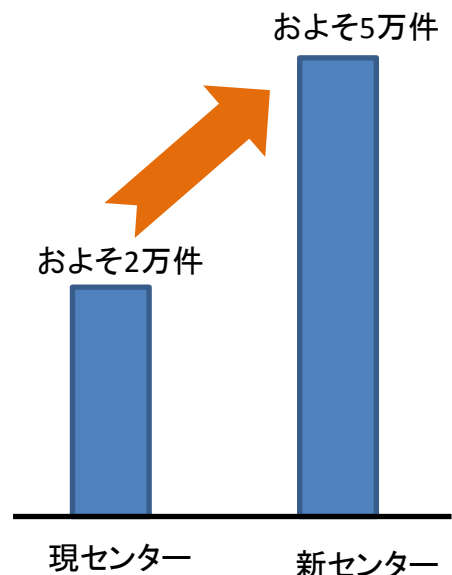


②出荷能力の拡大

今後の成長に伴い増加するご注文を迅速、正確に効率性・安定性をもってお届けできる体制を構築します。現センターの**2倍以上の出荷能力**、**20%の出荷効率向上**を計画しています。

在庫拡大計画	
2014年7月	12.6万点
2014年末	20万点
2015年末	27万点
2016年～	30～40万点

在庫点数3倍に！



出荷能力2倍以上に！

●尼崎ディストリビューションセンター 基本情報

住所：兵庫県尼崎市西向島町 75番地 1

延床面積：13,345坪（約44,100㎡）

構造：地上4階建

各階に大型車両がアクセスできるランプウェイが設けられていることで、入出荷エリア等のレイアウトにおいて自由度の高い設計、フレキシブルなオペレーションが可能となります。

在庫可能商品点数：30～40万点

出荷可能件数：5万件（現在の出荷件数の2倍程度）

主な新規導入設備：

- ・自動倉庫・・・ピッキング商品の仕分け用
- ・多層階搬送コンベア
・・・入荷エリア→在庫エリア、在庫エリア→出荷エリアへの自動搬送
- ・自動梱包機・・・人手作業のおよそ4倍の作業効率

●尼崎ディストリビューションセンター 運営計画

